

走行中にモルタルが落下しても問題はない！ 安全軽視の姿勢をあらためろ！

本部は9月1日、申6号（東海道新幹線観音松トンネル内モルタル落下に関する申し入れ）に基づく業務委員会を開催しました。私たちは「モルタル落下は安全上極めて重大な問題だ」「2度と落下しない対策をしろ」と主張しましたが、会社は、「モルタル落下は車端から1メートル離れている」「トンネル側壁部である」「列車の運行には支障はない」という安全に対する危機感がない回答をしました。

私たちは、会社の安全軽視の姿勢を許さず、たたかいを進めていかなければなりません。主な議論内容は以下の通りです。

申第6号

1. 観音松トンネル内モルタル落下の状況、原因を明らかにすること。

【回答】

保全工事の作業員が下り線側の側壁真下に、トンネル側壁の継ぎ目部の化粧モルタルが落ちているのを発見した。モルタル片が落下した場所は、側壁部で列車の運行には問題ない。当該物は、トンネル継ぎ目部の表面を円滑化するために建設時に施工された化粧モルタルで、当該箇所を点検し列車運行の安全に全く問題がないことを確認した。

組合：モルタル片が落下した原因は老朽化が原因か。

会社：そう考えている。

組合：モルタル片が2度と落下しない対策をするべきだ。落下すること自体が問題だ。

会社：モルタル片が落下しそうな箇所は事前に落としていく。また、トンネル内の点検をすることが対策と考えている。

組合：点検をしていても化粧モルタルが落下した。化粧モルタルすべてを落すべきである。

会社：そのような考えはない。モルタル片が崩れ落ちても側壁に落下するだけなので安全上問題はない。

組合：安全上問題はないと言い切るその姿勢が安全軽視である。あらゆる事態を想定して安全対策を講じるべきである。すべての化粧モルタルを早急に落とすこと。

２．「点検の結果、列車の運行に支障がないため平常通り運行をおこなった」とマスコミ発表しているが何を根拠に列車の運行に支障がないと判断したのか明らかにすること。

【回答】

そもそも、当該箇所はトンネル側壁に沿って落下し、車両端から１メートル離れており列車運行に全く問題がない。また、当該箇所を点検し、他に問題となる場所がないことを確認したことから列車の運行に支障がないと判断した。

組合：化粧モルタルが落下したにもかかわらず、列車の運行に支障がないと何を根拠に判断したのか。

会社：作業員がモルタル落下を発見してからトンネル内を点検し異常がない事が確認できたからである。

組合：化粧モルタルがあるトンネルは他にもある。列車の運行を中止してでもすべてのトンネルを確認すべきである。

会社：モルタル片が落下しても側壁に沿って落下し、車両端から１メートル位離れた所なので列車の運行には全く支障はない。

組合：それは、列車が走行していない場合である。トンネル内を列車が走行している時に、モルタル片が落下したら風圧により巻き上げて重大事故につながるの考えはないのか。

会社：側壁に落下するだけで列車運行に問題はないと考える。

組合：安全に対する姿勢が問われる。過去にも「のぞみ」の運行でバラストを跳ね上げた時も想定できていなかった。あらゆる事態を想定して安全対策をするべきだ。

会社：「のぞみ」によるバラスト跳ね上げは靴が原因である。モルタル片はトンネル下部でありバラストから３メートル位の場所であり安全上問題はない。

組合：科学的に検証してもいないのに安全上問題がないと言い切る事が問題である。列車走行時にモルタルが落下し、巻き上げることにより重大事故につながると想定し対策を講じるべきである。

会社：モルタル片が落下しても安全上問題はない。

組合：あらゆる事態を想定し対策を講じるべきである。安全上モルタル片が落下することは重大な問題だ。すべてのトンネル内化粧モルタルを総点検し、モルタル片が落下しないように対策を早急に実施すべきだ。

３．東海道新幹線全トンネルの点検箇所や点検方法を明らかにすること。

【回答】

トンネルの点検は全般検査として至近距離からの目視検査及び打音検査を実施している。また、至近距離の点検実施に合わせてトンネル点検車を２台購入すると共にトンネル内の状況を詳細に撮影するトンネル内撮影車を導入している。

組合：トンネル内を最後に点検したのはいつか。

会社：平成 17 年 4 月 9 日に点検した。

組合：点検後約 4 カ月でモルタル片が落下した。点検時期を短縮することは考えていないのか。

会社：考えていない。落とせるモルタルは隨時落とすとともに、これまでどおりの点検をおこなっていくことが最善の対策と考えている。

組合：現行の点検では落下するようなモルタルを発見できなかった。点検時期を短縮し、点検方法を改めるなど安全対策を講じること。

以 上

会社は、列車走行中にトンネル内のモルタル片が落下しても、安全上問題はないという見解です。しかし、モルタル片が落下すれば重大事故につながります。会社の安全軽視の姿勢を許さないために職場からたたかいをつくりだしましょう。